



SASEBO WEEKLY

佐世保ロータリークラブ

会長・飯田 満治 幹事・古賀 巖

事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323

例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181

http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 23 年 1 月 19 日

第 2,963 回例会

NO 26

《本日》会員数 73 名 (出席免除会員 24 名)・出席 52 名・免除者欠席 11 名・欠席 10 名・ビジター 0 名・出席率 71.23%

《前々回》会員数 74 名 (出席免除会員 24 名)・出席 49 名・免除者欠席 9 名・欠席 13 名・メークアップ 12 名・修正出席率 98.39%

会長挨拶

会長 飯田 満治 君

報告をいたします。

1月14日、佐世保学園の成人式でしたので、増本副幹事と一緒に訪問をして、祝辞を述べてまいりました。



6名の成人でした。それぞれの該当者が、お礼の言葉という形で、意見発表をしました。

人生に一度しかない成人式を佐世保学園の中で迎えることの反省。そして、これからは絶対に更生して親、兄弟に迷惑をかけないという決意など、力強く発言しておりました。途中で涙ぐんで絶句する場面もあったりしました。

成人の日を経過して、間もなく家に帰されますが、どうかこれからの人生で、決意の言葉通り立派に生きてほしいと願う次第であります。

1月12日は、市内8クラブ会長・幹事会でした。次期の第6グループガバナー補佐が、佐世保中央クラブから出られますので、支援要請とともに、次年度のIMに対する考え方などを協議いたしました。また、南クラブの中島洋三さんなどが、還暦の年でしたので、会議終了後、合わせてお祝いの会となりました。

1月はそれぞれの趣旨で新年会などが多く開かれ、会員の皆様も出席の機会が多いと思

います。お酒の場面も多いと思います。寒い日が継続しておりますが、ご自愛の上、ますますのご活躍を祈念いたします。

本日は、例会終了後、一連の60周年事業について、佐世保市政記者クラブで発表プレゼンテーションを行ってまいります。早速来週は、桜の植樹事業を行います。来週出席された会員の皆様全員で、島瀬公園の現場で植樹式でございます。

来月以降の事業の詳細については、今から構築いたすことも多いのですが、地域にとってお役に立てる事業が展開できますよう望む次第です。会員の皆さんの変わらぬ協力をお願い致します。

例会記録

○ロータリーソング「我らの生業」

○卓話者

海上自衛隊佐世保地方總監部

メンタルヘルス臨床心理士

山下 吏良 様

幹事報告

幹事 古賀 巖 君

1. (財)ロータリー米山記念奨学会

ハイライトよねやま 131

2. 第2740地区 次年度地区幹事

中野 哲生 君

2011-2012年度 RIテーマ

「こころの中を見よう 博愛を広げるために」

3. 第2740地区ガバナー 高原 武彦 君

インタラクティブ委員長 草野 幸子さん

2010-2011年度インタラクティブ後期指導者
研修会のご案内

日時／平成23年3月6日(日)

13:30 開会点鐘 16:00 閉会

場所／東彼杵町総合会館 教育センター

4. 地区財団委員長 石坂 和彦 君

「2011-2012年度ロータリー財団地区補助金
プログラム申請書」の提出について

提出期限 平成23年3月31日(木)迄

5. 第2740地区ガバナー事務所

地区ホームページ

1月13日 更新のお知らせ

6. 長崎国際大学ロータリーアクトクラブ

実行委員長 キム ヒロシ 金賢珉 君

インターシティミーティングご参加のお礼
会員一同より 寒中お見舞い

委員会報告

■会員増強プロジェクトチーム

リーダー 円田 昭 君

会員をご紹介ください。会員
紹介カードを本日セルフボック
スにお入れしております。お一
人1名のご紹介をお願いします。



■60周年記念事業委員会

副委員長 芹野 隆英 君

来週1月26日(水)、例会の時間
をお借りして、13時より島瀬公園に
て、60周年記念事業「桜の植樹」
を行います。どうぞ多数の出席を
よろしく願いいたします。



その他の報告

平成23年度 佐世保学園成人式 出席報告

日時／平成23年1月14日(金) 13:40～14:30

場所／佐世保学園 講堂

出席者／飯田満治会長、増本一也副幹事

当日、6名の新成人がおられました。飯田
会長が祝辞を述べられ、記念品を贈呈されま
した。当日の総参加人員は来賓を含め100名
程でした。

慶 祝

親睦活動委員会 松本 由昭 君

○今月の誕生祝い

藤井 隆 君 (1日)

大神 邦明 君 (1日)

下田 弥吉 君 (3日)

古賀 巖 君 (3日)

石井 正剛 君 (11日)

円田 浩司 君 (12日)

芹野 隆英 君 (13日)

長富 正博 君 (18日)

山下 尚登 君 (24日)

黒木 政純 君 (27日)

佐々木秀也 君 (29日)

山下 登 君 (31日)



出席委員会 加藤 陽一 君

○永年会員表彰

曾我 勝宣 君

井上 齊爾 君

東 陽三郎 君

下田 弥吉 君

○出席100%表彰
玉野 哲雄 君



曾我 勝宣君、井上 齊爾君、下田 弥吉君
玉野 哲雄君

永年会員表彰および出席100%表彰ありがとうございます。

会葬のお礼

中川内恵子様（中川内眞三様の奥様）
お通夜並びに告別式での会員の方々のお手伝い大変ありがとうございました。

ニコニコボックス

親睦活動委員会 山田 眞弘 君

【1月12日分】

中川内恵子様（中川内眞三様の奥様）

ニコニコボックス 本日合計 10,000円
累計 418,000円

親睦活動委員会 大野 高広 君

【1月19日分】

飯田 満治 会長、有菌 良太 君
田中丸善保 君、加納洋二郎 君、中村 徳裕 君
高橋 理一 君、平尾 幸一 君、芹野 隆英 君
山下吏良様の卓話に期待してニコニコします。

大神 邦明 君、藤井 隆 君、下田 弥吉 君
古賀 巖 君、石井 正剛 君、芹野 隆英 君
長富 正博 君、黒木 政純 君、佐々木秀也 君
山下 登 君
誕生日のお祝いありがとうございます。

歌の時間

指揮 井手 孝邦 君

「灯台守」合唱

卓話

『海上自衛隊における
メンタルヘルス活動』

海上自衛隊
メンタルヘルス臨床心理士
山下 吏良 様



NHKキャスターから海自・臨床心理士に大転身！「女子アナ・吏良の海上自衛隊メンタルヘルス奮闘記」を刊行。

自殺や事故が頻発する海上自衛隊で、戦う男たちに寄り添う吏良1尉の24時間！隊員の「うつ、心の病」のケアに奔走するメンタルヘルス最前線。

【内容紹介】

海自の現実を白日の下に晒す本書は、「海上自衛隊にとって両刃の剣である」

海上自衛隊といえども隊員の構成は日本社会の縮図。社会に若者の非行が蔓延すれば海上自衛隊でも非行が起こる。世間にうつ病や自殺が増えれば海上自衛隊でも増える。それどころか、自殺に関して言えば、不況にも強く壮健であるはずの海上自衛官の自殺発生率

が、ときに成人男子の平均よりも高いというのはどうしたことだろうか？海上自衛隊に特有の隠れた事故要因があるのか？

私が著者を知ったのは舞鶴地方総監のときだが、「海上自衛隊にもこういう人材が求められて入ってくる時代になったのか……」と、複雑な感慨を持った一。

—海上自衛隊佐世保地方総監・加藤耕司
（「あとがき」より要旨抜粋）

【主な内容】

序 章 事故の第一報

「くらまが衝突！」第一報が飛び込んできた

第1章 海自になぜ自殺者が多いのか

自殺の第一報！その日、私たちのチームは

第2章 女子アナの私が自衛隊に入った理由

私が転職を決意したあの出来事

第3章 入ってびっくり自衛隊ライフ

「軍人たる者、傘をさしてどうする」

第4章 メンタルヘルスの最前線へ

自衛隊を「弱音を吐ける組織」にしたい

第5章 日課は超多忙

「仕分け」面談開始

第6章 臨床心理士の役割

インド洋派遣艦へのメンタルヘルス

第7章 アフターケアの難しさ

惨事の現場とPTSD

第8章 心の病とどう付き合うか

身近な人がうつ病かなと思ったら

巻末レポート

うつ病とは何か — 海上自衛隊医官・角田智哉

* 次回例会予告 *

短縮例会後、島瀬公園にて記念植樹。

（今週の担当：石井 正剛）

（カメラ担当：納所 佳民）

クラブ会報委員会

委員長 松尾 文隆
副委員長 納所 佳民

委員 石井 正剛・幸良 秋夫
高橋 理一

【プロフィール】

1972年、京都生まれ。同志社大学（心理学専攻）卒。テレビ大阪報道部記者を経て、NHKでニュースキャスターを務めたのち、フリーアナウンサーに。この間、阪神淡路大震災や臓器移植問題の取材を通して、メンタルヘルスケアに興味を持ち、京都ノートルダム女子大大学院で臨床心理学を履修。臨床心理士試験に合格し、2007年10月、海上自衛隊に入隊。現在、佐世保地方総監部で日々、海自隊員の心のケアに奔走中。



最後に「聖母たちのララバイ」を熱唱され、卓話を終了。

♪♪♪

『聖母（マドンナ）たちのララバイ』

山川啓介 作詞・木森敏之 作曲

さあ眠りなさい 疲れきった体を投げ出して
青いそのまぶたを 唇でそっとふさぎましょう
ああ できるのなら 生まれ変わり
あなたの母になって 私のいのちさえ
差し出して あなたを守りたいのです
この都会（まち）は戦場（せんじょう）だから
男はみんな 傷（きず）を負った戦士
どうぞ 心の痛みをぬぐって
小さな子供の昔に帰って 熱い胸に甘えて